

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

を継ぐと決めた。内定をもらったことで、

18歳のときにフランスに行つて、日本文化のよさを見直した。フランスの異文化に触れたことで、ダサイと思い続けてきた家業の盆栽が日本文化の一つであると気づいた。だが、継ぐことを決心したのは、もう少しあとのことだ。

五代目を継ぐかどうか、ずっと悩み続けていた。思春期の頃から家業を古臭く感じて恥ずかしくて、友だちに実家が盆栽園だとは内緒にしていた。それくらい家業にコンプレックスを感じていた。

香織さんは、大学四年生のとき、江戸時代に創業した盆栽園、清香園の五代目を継いだ。だが継承を決断するまでには、様々な葛藤があった。

来年四月に「世界盆栽博覧会」が、盆栽のふるさと、さいたま市で開かれる。日本で開催されるのは28年ぶりのことだ。その日を心待ちにしている女性がいる。盆栽家の山田香織さんだ。

Nobuo Murakami



撮影・鶴崎燃

元氣のでてくる“ことばたち”

(218)

村上信夫

逆に背中を押されたような気がするという。「自分の中では、就職活動を始めた頃から盆栽業を継ぐことも考えていた気がします。でもやりがいをもって一生続けられるの

伝統とは一線を画するものだ」と批判もあったが、盆栽の楽しさをより多くの方に伝え、裾野を広げていくための手段がほしかった。「伝統の盆栽は、樹齢や重厚感などが大切にされるため、一定の見識をもつ限られた方たちだけの趣味になりがちで……。でも昔はもつと庶民に近い存在でした。清

焦らず急げ

盆栽家 山田香織さん

か、食べていけるのかという不安もあり、なかなか決心がつきませんでした。

いまは、五代目を継いだことを一点の曇りもなく、よかったと思っている。「悩んでいた時期が10年くらいあったので、継いだ時点でもう迷わなくていい、ひたすらこの道を進めばいいんだと救われた気分でした」

香織さんは、女性であることや若さを逆手にとつて新しいことを自由にやっていうと割り切った。伝統的な盆栽の世界に身を置きながら、カジュアルな「彩花盆栽」を始めた。

盆栽は一盆一樹が基本だが、「彩花盆栽」は木や草花を一つの鉢に植えて、自然の風景を表現する寄せ植えの盆栽だ。もともとは清香園四代目の父が考案したもののだが、香織さんの代になってから教室を始めた。

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送『日曜はがんばらない』（毎週日曜10:00～）、月刊『清流』連載対談～ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』（近代文藝社）『ラジオが好き!』（海竜社）など。趣味、将棋（二段）。
<http://murakaminobuo.com>

「自分でも驚くほど失敗するんです（笑）。針金で矯正して枝が折れたりすると『あなたはそれだけの体力がないのに、無理させてごめんなさい』と謝ります。そうやって失敗しながら、それぞれの木の特徴を覚えていきます。失敗しながら身に付けたものは、より確かなものになるようです」。

凡才では盆栽は出来ない。五代目は生まれながらにして非凡なものを持っている。悩みに悩み抜いて、失敗を繰り返しながら、批評や批判に耐えながら、今日があるのは先祖から受け継いだ「非凡」という賜物があるからだろう。まだ、ご本人もそのことに気づいていないだろうが……。伝統とは「非凡」の継承だと思った。それはものすごいことなのかもしれない。

父の口癖の一つに「焦らず急げ」ということばがある。

「『焦る』は追いつめられたネガティブな状態のこと、『急ぐ』は自分からポジティブに動いている状態です。焦る前につねに急いでいると、ポジティブな状態でいられます。何事もポジティブにとらえ、最短の時間で最高の仕事をしたいと思っています」。

香園は幕末に創業していますが、かつては市井の人々が軒先で楽しむような気軽さがあったんです。そんな遊び心を取り戻したくて、カジュアルな盆栽なら誰でも気軽に楽しめるんじゃないかと思いました」。

盆栽から教わることばかり。「お前の好きにはさせやしないぞ」という声も聞こえてきそう（笑）。樹齢何百年の盆栽を前にすると、自分はまだまだと思えてくる。人も、40年生きてきてわかること、70年80年生きてわかることには大きな差があるんだらうなと思えてきます」。

70歳になったら、こんなおばあちゃんになりたいという夢がある。「私は生まれてからいろいろな宿題を与えられていました。一人娘だったこと、跡を継ぐこと、そして次は跡取りを産んで育て上げ、清香園を魅力ある盆栽園にしていこうとなど、宿題がたっくさん。それらの宿題を70歳くらいまでにすべて納めて、そのあとは自由に生きたいと思っています。好きな盆栽をひたす



俳画／イネ・セイミ

8割も失敗する!?
伝統盆栽の世界は、「成功二割、失敗八割」だそう。

インディアンフルーティ教室

誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からミュージシャン

受講生募集!!

会場 マツイン楽器店
ミュージックガーデン武豊
開講日 隔週木曜日（月2回）
10:00～11:00
形態 グループ
会費 1ヶ月8,802円（入会金5,400円）
詳しくはマツイン楽器店本社 教室係まで
フリーダイヤル:0120-37-5576

講師 イネ・セイミ
（日本インディアンフルートサークル協会ディレクター）
ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート。その音色はやさしく心に響きます。
1レッスン:30分4,000円 会場:半田市柳ヶ丘

申込み 0569-89-7127
お問合せ ine.seimi.jp@gmail.com



人は、
ことばで
磨かれる

好評
発売中

■イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の（故）川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元（故）村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

とき 常滑屋
とき 俳画教室月二回 午後一時三十分～三時三十分
会費 一回、二二五〇円（三ヶ月分前納制）
問合せ ☎〇五六九（三三）〇四七〇

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

— 自分ドラマつくろう — (68) 岡田 清治

姪の就職2

真三はメールを読んだ後、しばらく考えた。

「巴基斯坦で育ち、日本の高校、大学で学び、その後日本の企業に定年まで勤め、そして親類が移り住んでいるアメリカに渡っている。語学が得意専門の分野に長けている世界人(コスモポリタン)になれるんだなと思った。これからの時代、彼のようなスタイルが日本人にも求められるのではないか。」

ただ、彼を見ていると才能はもちろん、肉体的にも強靱でないと異国の地で安穩と過ごせない。彼の会話で「故郷、巴基斯坦へ帰りたい」という弱音は一度も聞いたことがない。巴基斯坦の上流階級で有能な親類・家族とつながっていても、わきから見てみると大変だと真三は思うのだった。

しかし、日本人に生まれてずっと同じ土地で暮らし、ずっと子孫に継いで行くことも、これまた違う意味で大変なところはある。これから少子高齢化社会になって同じレベルの生活を維持しようとすれば、単一民族では済まなくなる。

真三はオリンピックの1000m競争で日本を除く決勝進出の選手はすべて黒人であることに国別対抗を掲げて戦う意味があるのだろうかと思った。

「もちろん、国籍など規定に沿って登録しているから問題はない」

ある日、イギリスにいる息子にたずねると、そう答えた。

そういえば、ラグビーの世界大会で日本のラグビーチームが南アを倒して以来、脚光を浴びているが、選手の中に純粹の日本人が少なく感じるのは真三だけではあるまい。先のオリンピックでもハーフの日本人が随所で活躍しているのが目についた。

これからの時代、純粹の日本人というイメージ、概念が崩れてくるのだろう。京都のような国際観光都市で朝のカフェ店では周囲は真三以外、外国人ばかりという体験もしたことがある。お互いに知らないから黙々とセルフサービスで朝食を食べていた。これが観光都市だけでなく、日本中の町で普通に見られる風景になる時、日本の国際化は新たな段階を迎えるに違いないと、真三はコーヒーを飲みながら思うのだった。

「親父も気づいていると思うが、日本の外務省は中国に対して観光ビザを大幅に緩和した。つまり数次ビザ(有効期間5年、1回の滞在期間90日)を開始したことで、ものすごい数の中国人が日本に来ているのだよ」

「だから爆買いなんかせずに、リピーターを繰り返しているのだな」

「そのうち、あらゆるところに中国人が出没するよ」

「日本が乗っ取られる日も遠くないな」

「もう相当、やられてるよ」

「賃金制度も変わるだろうね」

真三は舞の就職のこともあって自称、国際通という息子に聞いてみた。

「これからの時代、年俸制になるよ」

「正社員でも同じということはないのか。サラリーマンといえどもプロの世界と同じことになるのだな」

「日本の大企業のほとんどがその方向で取り組んでいるよ。政府は同一労働、同一賃金を打ち出しているが、同一労働なんて職場はありえない。だから年俸制を導入するしか対応できないのだ。ほとんどの企業では…」



【写真】高齢者に秋は語りかける(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX…0569-34-7971
メール: takamitsu@akai-shinbun.net



■プロフィール

著者：岡田清治おかだせいじ

一九四二年生まれ ジャーナリスト
(編集プロダクションNEXT108代表)
著書に『高野山開創二百年 いっぱんさん行状記』『心の遺言』などは社員の全能力を引き出せますか!『リヨンで見た虹』など多数

「格差も社会だけでなく、社内でも起こるということだな」

「日本の年功序列なんか、とつくになくなっていくよ。親父の時代と違って、いまのサラリーマンは大変なんだ」

「やはりスキルを身につけることが大事だということか」

「だから就職しても絶えず勉強して能力アップすることが大事になる。昔と違って徒党を組んで出世しようなんて考えは少なくとも国際化社会では通用しないね」

「日本も本気で生まれ変わらないと、難しくなるね」

「その通り。親父も勉強してください」

「お前にそんなこと言われるようになったらおしまいだな」

電話を切ってから真三は思い巡らした。中国人は本国では不動産を所有できないが外国では制限がない。いまや中国人が都会のマンションを買い取って押し寄せる中国の観光客に滞在型宿泊施設として利用させていると聞く。森林や池も買い占めているとも。

真三は時計を見て、裕美に電話をした。しばらくすると受話器がとられ、「もしもし…」という声が聞こえてきた。

「裕美さんですか」

「いえ、舞です」

「あ、そうか、自宅に泊まっているのだね。昨日はごきうさん。疲れただろう」

「そうでもないです」

「若いんだな。ところでインドへの出発は来週の土曜日でもいいですね」

「はい。午前の便で中部国際空港から出ます」

「お母さん、いるかな」

「いま代わります」

「おはよう。声が似ているね。やはり親子だね」

「おはようございます。時々、そう言われます」

「ところで、来週土曜日に空港でお会いしたいと思いますが、都合はいいですか」

「はい。電車で参りたいと思います」

「では当日、空港のロビーでお会いしましょう。裕美さんは成田まで見送りに行かれるのですか」

「いいえ、中部国際空港で見送りたいと思っています」

「それなら少し話ができますね」

「ええ」

「では当日、空港で」

真三は裕美との約束を決めた。しばらく間をおいて前島氏に電話をかけ、土曜日の夕方、割烹店「かっぱ」で会えるかどうか、確認することにした。もう事務所に出ている頃だろうと、電話をかけた。聞き覚えのある元気な声が伝わってきた。

「おはようございます。善さんですか…」

「おはようございます。お久しぶりです。昨日、電話をもらったようですが、留守をしていましたので、失礼しました」

「いいえ。お久しぶりに一献交わしたいとお電話し

たのですが、いかがですか」

「いいですね。来週の土曜日はいかがですか」

「土曜日ですね。いいですよ。ママには私から予約をしておきます」

「よろしくお願いします」

「ママも喜ぶと思いますよ。では楽しみにしています」

真三は受話器を置いて、土曜日に二件の案件が片付くと内心、満足気であった。

土曜日の朝は晴れの天気だった。初夏を感じさせる。朝のコーヒーを飲みながら朝刊を読んでいると、り子が声をかけた。

「今日は舞さんのお見送りと、夕方には前島さんと会うのでしよう。遅くなりますね」

「そうだな」

「お昼も夕食もいりませんね」

「お前も久しぶりにゆっくりできるだろう」

「いろいろすることがあります」

「そうか」

「舞さんに銭別差し上げて下さい」

り子は白地の封筒を手渡した。裏をみると、5万と記してあった。

「わかった」

真三は悪いながら封筒を手提げカバンに入れた。舞の問題は真三側のことから、真三の小遣い(預金)から出す暗黙の取り決めがあったが、今日は裕美、前島さんらとの会食でモノ入りだろうと、るりが奮発した。真三は内心、助かったと思った。

人は活動すればカネがかかる。毎日、家でテレビを見るだけの生活ではもたない。自閉症と同じである。仕事を止めた後の生活設計がすっかりしていないと不安になる。人は何かをしていないと、ダメになる。社会貢献できればいいのだが、それには特技でもなければできない。

真三はテレビで災害時のボランティア活動を見ながら感心する。若い学生らの活動もたいしたものだが、高齢者の姿を見ると、自分におきかえて、とてもできないと敬意を表したくなる。おそらくボランティアの人々は充足感を覚えているに違いないと思うのだった。

何も災害だけでなくとも、ボランティア活動の募集を市の広報誌で見ることがある。小学校の登校、下校時の見守り役、児童会の子どもの世話などが掲載されている。ときには学習指導の募集もあったと記憶する。

真三はサラリーマンや自営業の時代は時間に縛られたので、仕事を止めた後は時間の自由を最優先に求めた。とにかく時間に縛られない生活が夢であった。だからボランティア活動には目もくれなかった。それだけでなくどうしても時間に縛られることが起こる。病院での検査は年齢が増えと、それだけ多くなる。検査の結果を聞きに行く日はもっとも憂鬱になる。検査の結果、さらに精密検査を求められると気力が失せる。加齢とともに病気は増えるとかわかっていても。



十二月半ば、今年旦後の絵手紙に
名古屋駅のイルミネーションを、
描こうかと、名古屋に行きました。
駅前や栄華街は早もクリスマ
ス商戦で、大賑わい。絵手紙には
名鉄百貨店ヤング館前、身長
六mのナナちゃん人形と決まりました。
クリスマスシーズンにはカナタさん
夏には水着や浴衣装、時には
名古屋グランパスや中日ドラゴン
ズのユニホームも着替えるのが
人気の秘密。待合せ場所と
しても利用されるナナちゃんは、
皆に愛されるシボルです。

師走も押し詰まりまして、あと僅か。
凡人は慌ただしさに搦めとられて、
からから舞いの右往左往ですが、流石、
画人は余裕の写生旅行にて、ヤング館前とは、また華やか。
実を申せば、私め名鉄駅前は、ご用達の場所なれど、
なぜか、ナナちゃんを見上げたことがございません。
暮れの話題に必ず登場するのに、
立っているところを知りません。
御絵手紙にて、可愛い全体像を拝見して、
賑やかな師走に思いを駆せております。

感謝

絵手紙 第二集



絵文

縦山善久

返文

小林玲子

縦山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。
丸栄陶業株式会社代表取締役。
碧南商工会議所会頭。
愛知県陶器瓦工業組合理事長。
全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。
平成十三年藍綬褒章受賞。
平成二十二年旭日小授章受賞。
丸栄陶業株式会社取締役会長 現在に至る。
京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・
洋画コース大学院修士課程二回生。

小林玲子

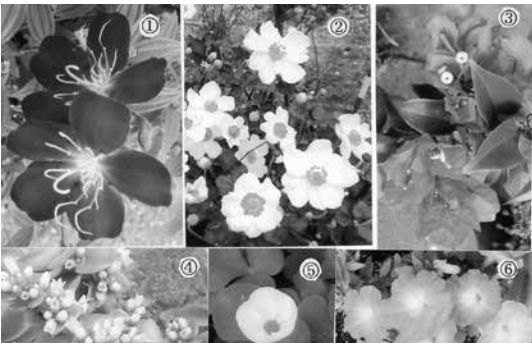
碧南市に育つ。
西尾市在住
共著「西尾の民話」
童話「サケの子ピッチ」
随筆「海辺のそよ風」
(中経コラム「閑人帳」より)
ミュージカル脚本
「みぐりちゃんのおうち」ほか
童話集
「タアタとバアバのたんけんたい」

知多の動植物雑誌(三三九)

原 穰

とうとう年末を迎えること
になってしまったが、昆虫
少年、川の魚釣り青年をや
つて来た老人にとっては、
例によつて例のごとく、虫
を目に留め、水槽の魚に目
をやっている間は、暑さ寒
さに無関心。
そんな中、大中小と水槽

の並ぶ水槽の魚に見とれて
いる中、隣家1邸の庭に咲
く、いろいろな美しい花々
に、つい目をやり、水槽の
魚から目を離していた。
早速、1邸の奥方に「花
を撮らせて下さい」と言っ
てしまったのも、紛れもな
い事実である。



美しく、珍しい花々が庭に

その花々は、
全部を紹介でき
なかったが、美
しさ、珍しさを
感じた花々を上
の写真として撮
つてみた。
花の名前は、
植物に詳しい名
古屋のY氏にお
願ひし、詳細は
植物図鑑に頼つ
たものである。
写真①は、花
びらは紫で、雄
しべ、雌しべは

白く、近寄れば、細長く、
きれいだナードであり、その
名はコトダジュールとか。
写真②は、シユウメイギ
クで、古くに中国から渡来
し、野生化したと云われ、
や、湿り気のある用土を好
み、高湿、乾燥を嫌うとか。
写真③はブルーゲンピレア
オシロイバナ科の低木で、
南米中央の熱帯性で、花の
色は、黄、白、橙、赤、桃
茶、深紅、深紫などとか。
写真④は、小形の白花で
クラスス。火祭りという
種類で、秋になると紅葉す
るので、これを火祭りと言
い、日当りのよい場所ので
よく育つとか。
写真⑤はオキザリスで、
和名はハナカタバミ。オキ
ザリスはギリシャ語で酸つ
ぱいの意味で、葉にシユウ
酸を含み、酸味がある。
写真⑥はベチュニア。原
種はアルゼンチン原産のナ
ス科の多年草。花冠は漏戸
状のものが多く、改良が進
んで変化が多いとか。
とに角、花色々に大感動。

ちよつとおじやまします

常滑陶彫会会員
柴山 山 山 さん



開け放た
れた扉から
は、小学生
の楽しそう
な声が響い
てくる。工
房の前は小
学生の通学路となつてい
るため、本
当によく聞こえる小学生
たちの声に
山山さんは、目を細めて
いる。時を
重ねて辿りつた今の工
房に、四年
前に引越してきた。御
歳八十六歳



日本人は好
きだからと、
たくさん作
つた。それ
らは、どれ
ひとつとし
て同じもの
はない。そ
れぞれ違う
表情の焼き
締めのカッ
プや花瓶。愛嬌い
っぱいのカエル
オブジェや心温まる
お地蔵さん。好
きなものを作
りたいから、ず
つと作られ
てきたものが、
工房にずら
つと並べられ
ている。今と
なれば、好き

焼き物を始めて60年。今も現役で
口を回す。土遊びをしながら、仕
事をしている。自由に気楽に陶作し
暮らしている。
常滑には気取らない居心地のよ
さがあつた。近頃、常滑の町にも観
光客が増えてきたと、山山さんは実
感している。観光客は増えても、山
山さんの工房を訪ねてくる人は少
なく、作品は全く売れないと、ため息
に話す。観光客に問いかける何か
が欲しいと模索しているが、一向に
アイデアが浮かばないという。
常滑焼の職人が山山さんの人生
にいい影響を与えたように、誰かの
心に響くような作品を作りたいと
いう思いで作陶してきた。灰釉の緑
は、なことをやれていることに感謝
している。山山さんはい。
自分が本当にやりたいことに力を
注いできた。今は陶芸に囲まれた心
地のよい生活に満足はしていないが、
運に恵まれたという。ここまで来る
のに周囲の人たちの温かい支えがあ
つた。背中を押していくものもあり
た。風化していくものもあり、時
代は変わってしまったけれど、歴史
を刻んでいる、そんな空間が今の生
活にはあるようだ。
山山さんは、とてもポジティブな
人。二年先までの作陶展の予定が定
期的に決まっている。
趣味は書道。
(赤井伸彦)

いべんと

- 知多市子ども未来館
▼創作工作えんかざり・一日(月) 二時～四時 内容 卵のからや布で来
年の干支の酉を作ります。材料
費 一個 一百三十円
▼季節工作クリスマスのかざり
①ボタナリ②まつばりくりり
クリスマス飾り③クリスマスリース・一日(月) 二時～四時 内容 布を
貼つた土台にボタナリの実を飾
り付けたりリースを作ります。
大きなまつばりくりりに木の葉や
ポンなどを付けてクリスマス飾り
を作ります。③柳の枝で作った
リースに生葉(ハバカズカイア
キ・木の実など)を飾つてリースを
作ります。材料費 ①②各 個
百二十円③三百五十円
▼ちよつとおじやまします
とんクリスマスリース・一日(月) 二時～四時 内容 軍手に染料を付け、ハ
ンカチに編み目模様のはんを押
してリースの柄に染めます。材料
費 一枚 六十円
▼いろあそびどりのはん・一日(月) 二時～四時 内容 はんを押して、
矢協会公認指導員と常滑翼支部
会員 場所 青海公民館 講義
室(二階) 定員 十名(抽選) ※
落選者のみ連絡します。連絡のな
い場合は時間とおりにお越しな
さい。対象 どなたでも ※特
に中高年の方に最適です。参加
費 無料 持ち物 ハンカチ、水分
補給用飲料 ※身軽な服装で参
加ください。申込み期限 七日(月)
申込み 問合せ 生涯学習ス
ポーツ課 ☎44-4600 青海
公民館 ☎43-6622(申込み
のみ)
- 武豊町立図書館
▼武豊町立図書館
おはなし会キリンの会・十八
日(月) 午前十一時～一時 演目 「び
んぼうがみどろのかみ」 「パス
でお出かけ」など
▼武豊町中央公民館
▼パソコンわいわい相談室・十・
二十四日各(月) 午後一時半～同
四時 問合せ NPO知多ネッ
ト 田中 ☎090-2612
▼親業体験! 学習会・十三日(月)
午前九時四十分～正午 批
判しないで、共感的に話を聞く
練習をする。日常生活を振り返
るなど自由に話し合う。講師
親業訓練協会認定インストラク
ター 参加費 千七百一十三
円 ※当日参加自由
▼家庭教育セミナー「お手伝い
て必要?」お手伝いの中で学ぶ
もの「子育てに関する学習会と
質疑応答」十三日(月) 午前十時
～正午 参加費 無料 問合せ
知多家庭教育研究会 山下
☎72-1902
- 吉田ひろし
加藤 浩美
杉江 久子
塚本 千鶴
谷川 志江
片岡 光江
荒川 達雄
村井 範子
都築 範子
服部 寛平
田上 義則
山中 博子
柴山 悦子
富田 山子
林 京子
藤井 文子
浦崎ひとみ
杉江 文子
中山 洋子
清水 吉子
古川 義高
古川 三恵子
久田 三子
岩田 三子
杉山 三子
平野 紀子
磯村美耶子
村井 節也
中尾 利子
谷川 利子
- 武豊町民会館
ゆめたろうプラザ
▼名作映画観賞会・三日(日)
アロと少年(大)小さいけれど勇敢
な少年スポーツの友情と冒険の物
語 午前十時～同十一時四十分
②花ざんげのふし(中) 午後二
時～同三時五十分 対象 ど
なたでも未就学児は保護者同伴)
チャリティー陶展・二十二日(月) 二
時～五時 定員 六百五十名
/回
▼日用品deトランスフォーム身
の回りにある日用品を利用し、コ
マ撮りアニメーションを作製・
十日(月) 午後一時半～同四時半
講師 中野キミオさん(エテレ・
プチブチアニメでおんがく世界
りよう)を企画・製作 定員
十二名 参加費 二百円(保険料
込)
▼二〇一六武豊町民劇団TAKE
TO YOU定期公演「SHOW
W☆TEN☆GIRLS」・十七
日(日) ①午後二時半開演 ②午後
七時開演 ③十八日(月) 午後一時
半開演
▼ゆめプラモニングコンサート
二〇一六チタデイタリ・二
十一日(月) 午前十時半開演 チ
ケット 五百円(ドリンク付き)
演奏曲 椿姫より乾杯の歌、
「リゴレット」より「女心の歌」
ヴェレディ他
▼芸術と科学のハート二特別講
演人工知能は世の中をどう変え
るか・二十三日(金) 祝 開演
午後二時 講師 松原仁さん
(前人工知能学会会長・はこで
て未来大学教授)
▼武豊町総合体育館
▼第五十回ビーチボール町民大
会・十一日(日)
●武豊町立四児児童館
(長尾くすのき)おあし
富貴児童館
▼クリスマス会・十一日(月) 午後
一時半～同四時申込み要
●半田空の科学館
でプログラムを作り、自立型ロ
ボットを動かす。四日(月) 午後
一時～同四時 定員 十名小学
三年生以上
▼十二月の星見会月・天王星・
海王星・十日(日) 午後六時半
同八時半 参加費 大人三百円 小
人二百円 定員 六十名小学生
以上
▼十二月の星見会 プレミアム
(二)七人グループで 観察の方
法や対象を好みに合わせるこ
ができる星見会・十六日(月) 午後
六時半～同八時半 定員 三
人 参加費 千八百円(グループ
プ参加費 千八百円)グループ
プ KIDSプラネタリウム小学
生未満の親子を対象とした気
軽に参加できるプラネタリウ
ム・十八日(月) 午前十時～同
十一時 定員 百組(乳幼児の親
子) 参加費 大人 三百円(親子
小学生 二百円)
▼銀河鉄道の夜クリスマスコン
サート・二十三日(金) 祝 午後
七時～同八時半 参加費 大人
七千五百円 小人五百円
●碧南白木木材(株)白竹ギヤ
ラ
▼お正月用縁起もの展(タメ縄
陶器の干支置物ボチ袋タメ縄
リ)など・九日(日)十四日(日)

島旅回廊

～ハワイアン・ムーヴメント③～
ホエール・ウォッチング

半田空の科学館・半田市体育館 館長 池田 昇

毎年12月から4月にかけてのハワイには「鯨」がやって来ます。北太平洋に生息する「ハンプバック・ホエール(ザトウクジラ)」達は、アラスカの海に冬が来ると、およそ5,000キロモの海を旅して、暖かいハワイの海へとやって来ます。その数およそ1万2,000頭。ハワイはこれからホエール・ウォッチングのシーズンを迎えます。

クジラ達がハワイの海ですること。それは「恋」です。クジラのオスは歌を唄う能力があり、これは完全に証明されているわけではありませんが、その歌には求愛の力があるそうです。愛の歌を唄いながら、オスは果敢にメスへとアプローチします。時には複数のオスが1頭のメスを巡って争います。この闘いは熾烈です。口いっばいに空気や水を含んで自分の身体を大きく見せようしたり、相手の身体に乗り上げたり、「テイルスラップ」と呼ばれる、尾で海面を叩く行為を行ったりします。オスの身体にある数々の傷は、メスを巡って争った「男の勲章」なのです。

勝ったオスクジラとメスクジラは愛し合いますが、メスは1回の妊娠で1頭しか生みません。そのため、子孫繁栄を目指すオスは、その後も次から次にメスへのアプローチを繰り返します。メスの妊娠期間はおおよそ1年。翌年、再びハワイに戻って来て、ハワイの海で子供を生みます。生まれたばかりのクジラの重さはおおよそ1,300キロ。体長は3.5メートルから4.5メートル。1日に飲む母乳は牛乳に換算すると200リットルから300リットルにも上ります。母クジラは子クジラを母乳で育てながら、泳ぎ方を教えます。アラスカまで泳いで帰ることが出来るように、子クジラの身体を鍛えてから、親子一緒にハワイを去るのです。

ホエール・ウォッチングの最適な海は、マウイ島とラナイ島、そしてモロカイ島の間にあるおよそ2,100kmのアウアウ海峡です。ここはハワイ・ザトウクジラ海洋サンクチュアリに指定されているエリアで、親子で泳ぐクジラの姿を高い確率で見ることが出来ます。

この冬はクジラが唄う愛の歌。お聴きになりたくないですか?



ハワイ各島のクジラスポットには、このような看板が立てられています。さて、島旅回廊は今回にて終了です。クジラと一緒にハワイに帰ります。ご愛読、ありがとうございました。

わが家のニューフェイス



安保^{しゅん}駿(1才4ヶ月) 颯斗^{はやと}(5才) 武豊町北中根

で	は	に	い	た	緒	ん	の
大	い	留	ち	〇	に	も	か
き	こ	守	ャ	マ	遊	僕	だ
く	は	番	ん	マ	ん	の	あ
な	ん	し	と	が	で	面	い
っ	食	て	は	は	く	倒	好
て	べ	る	あ	事	え	よ	き
お	て	よ	ち	に	る	く	〇
〇	、	〇	ャ	行	か	見	4
	た	こ	ん	っ	う	て	っ
	く	れ	と	て	大	え	上
	さ	か	お	る	好	て	の
	ん	ら	り	間	き	、	お
	遊	も	こ	は	な	一	兄
	ん	い	う	い	ん		ち

安保
美穂

な	近	前	こ
っ	は	は	ん
て	歩	安	に
、	く	保	ち
お	の	駿	は
外	も	で	〇
で	上	す	僕
遊	手	〇	の
ぶ	に	最	名



中田^{あやか}采花(3才4ヶ月) 常滑市市場町

写真・文中田実花	う一回いらしめいませ	たとお母さんに言います。さあ	り笑って「ありがとうございませ	ーキとみかんを袋に入れてにっこ	て「四百円になります。私は、ケ	んをお買物。レジをピピと通し	さん。小さなカゴにケーキやみか	とお店屋さん。お客さんはお母				
									「いらしめいませ	は、ごっこ遊びです。	花です。私の楽し	こんにちは、中田采

反射材で

**自分を見せる
目立たせる**



夜間、歩行中の事故が多発しています。
反射材を身につけましょう!

常滑市で高齢者・歩行者の重大事故が多発

ライト・オン運動

夕暮れ時
早めの点灯

点灯時刻の目安 **12月・・16:00** 日没1時間前

振り込め詐欺に注意!!

ダマしのキーワードはこれだ!

オレオレ詐欺

「携帯電話の番号が変わった」
「代わりの者にお金を渡して」

**家族に相談!
警察に通報!**

還付金等詐欺

「還付金があるからATMへ行って」

オレ誰?

愛知県常滑警察署

武豊町梨子ノ木 天然木の家・モデルハウス

天然木の温もりと風合いを素足で体感してください。

思いっきり深呼吸して
森の空気感を
感じてください。

お子様の健康を。

天然木床材の凄さを
再確認してください。

呼吸する

健やか

心地よさ

梁、桁、柱を見てください。

吹抜や斜天井による
開放感。

強さ

開放感

ひろがる夢をたしかな道で

株式会社 東海ホームズ

詳細は下記まで!! お気軽にお問い合わせください。

0569-89-2889

■モデルハウス/愛知県知多郡武豊町字梨子ノ木17番地の6

東海ホームズの
サイトは携帯
・スマートフォン
でもご利用い
たけます。

★詳しくはHPをご確認ください。

東海ホームズ

検索

<http://www.tokaihomes.net/>